



平成17年6月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年5月11日

会社名 朝日インテック株式会社 (JASDAQ・コード番号：7747)

(URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職 代表取締役社長 氏名 宮田 尚彦  
責任者役職 常務取締役管理本部長 氏名 竹内 謙 氏 Tel : (052) 768 - 1211

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- ・たな卸資産のたな卸高は帳簿たな卸によって算定しております。その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
- ・連結（新規）1社（ASAHI INTECC USA, INC.）

2. 平成17年6月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年7月1日～平成17年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年6月期第3四半期	5,708 ( )		1,258 ( )		1,182 ( )		728 ( )	
平成16年6月期第3四半期	( )		( )		( )		( )	
(参考)平成16年6月期	6,271		1,123		995		693	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成17年6月期第3四半期	102.41	
平成16年6月期第3四半期		
(参考)平成16年6月期	114.76	

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。  
2. 四半期財務・業績の概況は当期より作成しておりますので、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期におけるわが国経済は、輸出の増加に伴う企業収益の改善や、設備投資が回復傾向を示しており、今年に入ってから、この状況は更に改善の傾向にあります。

また、世界経済におきましても、米国において活発な個人消費と設備投資等により景気は拡大し、アジアにおいても消費が増加するなど、景気の拡大が続いております。

こうした状況の中、当社グループは医療機器分野における循環器領域製品のグローバル展開を加速化すると共に、循環器以外の患部領域製品の販売を強化いたしました。また、研究開発型企業として技術的優位性と開発力の向上に努め、絶えず製品の高機能化・高品質化に注力いたしました。

その結果、当第3四半期は、売上高57億8百万円、営業利益12億58百万円、経常利益11億82百万円、第3四半期純利益7億28百万円を計上いたしました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
平成17年6月期第3四半期	百万円 11,732	百万円 6,591	% 56.2	円 銭 924.99
平成16年6月期第3四半期				
(参考)平成16年6月期	11,194	5,782	51.7	750.43

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
平成17年6月期第3四半期	百万円 635	百万円 717	百万円 514	百万円 2,429
平成16年6月期第3四半期				
(参考)平成16年6月期	742	334	764	3,026

[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第3四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は5億37百万円増加しました。これは主に有形固定資産の増加4億33百万円によるものであります。株主資本は8億9百万円増加し、株主資本比率は56.2%となりました。これは主にオーバーアロットメントに伴う第三者割当増資2億25百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億35百万円の増加となりました。主な要因は、税引前四半期純利益が11億80百万円となったものの、売上債権の増加2億74百万円及び法人税等の支払額3億55百万円があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億17百万円の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出6億43百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億14百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出10億円及び配当金の支払額1億25百万円によるものであります。

3. 平成17年6月期の連結業績予想（平成16年7月1日～平成17年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 7,722	百万円 1,460	百万円 968

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 136円07銭

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

当期の予想につきましては、平成17年2月15日発表の業績予想の修正に関するお知らせによる通期の連結業績予想数値に変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

添付資料

- ・(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書
- ・(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

## 経営成績

### 第3四半期の概況

当第3四半期（平成16年7月～平成17年3月）の経営成績は、売上高57億8百万円、経常利益11億82百万円、第3四半期純利益7億28百万円となりました。事業の種類別セグメントの営業概況は以下となります。

#### <メディカル事業>

P T C A治療に関するグローバル市場環境は、米国を中心に各国で薬剤ステントの普及が拡大することなどに伴い、P T C A治療件数は拡大傾向にあります。このような環境の中、当社グループは絶えず製品の高機能化・高品質化に注力することによりシェア拡大を目指しており、主要戦略製品であるP T C Aガイドワイヤーの受注は、北米地域・アジア地域を中心として拡大しております。また、国内市場でも、当期における新製品であるP T C Aガイドワイヤー「Filder（フィールダー）」の市場浸透が順調に経過し、大変好調に推移いたしました。このような結果、治療用カテーテルシステムは、主要戦略製品であるP T C Aガイドワイヤーを中心として、前年同期に対して売上は大きく伸びました。

一方、検査用カテーテルシステムについては、国内外共に新製品の販促活動を強化するものの、競合品との競争激化の影響を受け、前年同期に対して売上は減少いたしました。

以上の結果、売上高は28億7百万円となりました。

#### <メディカルデバイス事業>

医療機器業界での同業者間における価格競争が激化していることにより、大手医療機器企業が強力な販売網を活かし販売に注力すべく、製品製造について当社のような技術力、生産力に強みを持つ企業にアウトソーシングに委ねる傾向がございます。

このような環境の中、O E M供給品につきましては、国内大手医療機器メーカーへO E M供給しております循環器系以外の治療用ガイドワイヤーが大変好調に推移するものの、世界有数のメディカル総合企業へO E M供給しております透析用・肝臓ガン治療用・末梢血管用ガイドワイヤーについては、市場への浸透が安定期に入ったことから、前年同期に対して売上は減少いたしました。

また、医療用部材につきましては、ケーブルチューブ「A C T O N E（アクトワン）」の米国市場からの受注が前年より拡大したことから、前年同期に対して売上は増加いたしました。

以上の結果、売上高は11億36百万円となりました。

#### <インダストリアルデバイス事業>

インダストリアルデバイス事業につきましては、韓国・中国を中心とした海外廉価製品との価格競争の激化や、O A機器複合化に伴い製品の市場価格が下落傾向にあるなど、端末加工品及びワイヤー素材共に厳しい環境におかれております。

このような環境の中、端末加工品につきましては、O A機器関連製品の縮小、競合品との競争激化の影響を受けるものの、海外向けのレーザープリンター用チャージワイヤーなどの受注が増加し、前年同期に対して売上は増加いたしました。

一方、ワイヤー素材などにつきましても、自動車メーカーの海外調達比率の増加や電子スロットル化に伴い自動車関連製品の売上が減少するなど、需要の落ち込みがあるものの、ハイテンションワイヤーを用いた鮎釣り糸や高圧ホース向けの線材の受注が好調に推移し、前年同期に対して売上は増加いたしました。

以上の結果、売上高は17億64百万円となりました。

1.(要約)四半期連結貸借対照表

科目	当第3四半期連結会計期間末 (平成17年3月31日)		(参考) 平成16年6月期	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
1.現金及び預金	2,964,348		3,642,405	
2.受取手形及び売掛金	1,836,969		1,562,254	
3.たな卸資産	1,458,352		1,210,002	
4.繰延税金資産	144,453		74,113	
5.その他	394,741		343,544	
貸倒引当金	1,171		2,243	
流動資産合計	6,797,693	57.9	6,830,077	61.0
固定資産				
1.有形固定資産	3,884,182		3,450,793	
2.無形固定資産	143,693		145,511	
3.投資その他の資産	993,816		848,974	
貸倒引当金	87,300		80,600	
固定資産合計	4,934,392	42.1	4,364,680	39.0
資産合計	11,732,086	100.0	11,194,757	100.0
(負債の部)				
流動負債				
1.支払手形及び買掛金	586,054		571,284	
2.短期借入金	1,643,848		1,548,680	
3.未払金	211,235		215,589	
4.未払法人税等	321,726		172,209	
5.賞与引当金	140,072		39,814	
6.その他	192,372		169,646	
流動負債合計	3,095,308	26.4	2,717,224	24.3
固定負債				
1.長期借入金	1,459,229		2,125,052	
2.退職給付引当金	134,700		121,370	
3.役員退職慰労引当金	362,666		338,216	
4.その他	88,445		110,165	
固定負債合計	2,045,042	17.4	2,694,803	24.0
負債合計	5,140,351	43.8	5,412,027	48.3
(資本の部)				
資本金	2,397,550	20.5	1,891,800	16.9
新株式払込金			1,052,800	9.4
資本剰余金	2,291,760	19.5	1,519,110	13.6
利益剰余金	2,133,265	18.2	1,550,655	13.8
その他有価証券評価 差額金	3,001	0.0	56	0.0
為替換算調整勘定	233,841	2.0	231,691	2.0
資本合計	6,591,735	56.2	5,782,730	51.7
負債及び資本合計	11,732,086	100.0	11,194,757	100.0

2.(要約)四半期連結損益計算書

科目	当第3四半期連結会計期間 (自平成16年7月1日 至平成17年3月31日)			(参考) 平成16年6月期		
	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
売上高		5,708,738	100.0		6,271,529	100.0
売上原価		2,409,068	42.2		2,980,916	47.5
売上総利益		3,299,669	57.8		3,290,613	52.5
販売費及び一般管理費						
1. 発送運搬費	133,787			127,806		
2. 役員報酬	198,430			223,463		
3. 給与手当及び賞与	506,363			622,357		
4. 賞与引当金繰入額	73,467			18,627		
5. 減価償却費	38,867			43,707		
6. 研究開発費	426,023			479,406		
7. その他	664,639	2,041,578	35.8	652,125	2,167,494	34.6
営業利益		1,258,090	22.0		1,123,119	17.9
営業外収益						
1. 受取利息及び配当金	1,134			1,958		
2. その他	11,128	12,263	0.2	13,108	15,066	0.2
営業外費用						
1. 支払利息	43,900			82,119		
2. 為替差損	6,793			25,797		
3. その他	37,111	87,805	1.5	34,316	142,233	2.2
経常利益		1,182,548	20.7		995,952	15.9
特別利益						
1. 貸倒引当金戻入益				1,419		
2. 固定資産売却益	367	367	0.0	744	2,164	0.0
特別損失						
1. 固定資産売却損	499					
2. 固定資産除却損	2,095	2,594	0.0	12,413	12,413	0.2
税引前四半期(当期) 純利益		1,180,321	20.7		985,702	15.7
税金費用		452,185	7.9		291,775	4.6
四半期(当期)純利益		728,135	12.8		693,927	11.1

### 3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第3四半期連結会計期間 (自平成16年7月1日 至平成17年3月31日)	(参考) 平成16年6月期
	金額(千円)	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1.税引前四半期(当期)純利益	1,180,321	985,702
2.減価償却費	238,544	294,384
3.賞与引当金の増加額	100,257	3,095
4.支払利息	43,900	82,119
5.売上債権の増加額	274,714	262,716
6.たな卸資産の増加額	248,350	154,600
7.仕入債務の増加額	14,769	118,570
8.その他	20,401	46,999
小計	1,034,326	1,113,555
9.利息及び配当金の受取額	778	1,906
10.利息の支払額	43,568	81,266
11.法人税等の支払額	355,650	291,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	635,885	742,547
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1.有形固定資産の取得による支出	643,791	281,853
2.有形固定資産の売却による収入	1,062	2,027
3.無形固定資産の取得による支出	10,244	44,567
4.その他	64,543	9,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	717,517	334,303
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1.短期借入金の純増減額	120,000	224,433
2.長期借入れによる収入	300,000	1,400,000
3.長期借入金の返済による支出	1,000,777	1,637,564
4.株式の発行による収入	225,600	1,354,800
5.配当金の支払額	125,526	89,855
6.その他	33,366	38,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	514,070	764,375
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,344	17,787
現金及び現金同等物の増減額	597,047	1,154,831
現金及び現金同等物の期首残高	3,026,301	1,871,469
現金及び現金同等物の期末残高	2,429,253	3,026,301

#### 4. セグメント情報

##### 〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期

(単位：千円)

	メディカル事業	メディカル デバイス事業	インダストリアル デバイス事業	計	消去又 は全社	連結
売上高						
外部顧客に 対する売上高	2,807,950	1,136,580	1,764,207	5,708,738		5,708,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,797	121,608	483,981	667,387	(667,387)	
計	2,869,748	1,258,188	2,248,188	6,376,125	(667,387)	5,708,738
営業費用	1,797,668	879,606	1,759,275	4,436,551	14,095	4,450,647
営業利益	1,072,079	378,581	488,912	1,939,574	(681,483)	1,258,090

(参考)平成16年6月期

(単位：千円)

	メディカル事業	メディカル デバイス事業	インダストリアル デバイス事業	計	消去又 は全社	連結
売上高						
外部顧客に 対する売上高	2,639,362	1,324,528	2,307,638	6,271,529		6,271,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	279,587	175,754	449,697	905,039	(905,039)	
計	2,918,950	1,500,282	2,757,336	7,176,568	(905,039)	6,271,529
営業費用	1,973,613	1,143,693	2,184,916	5,302,223	(153,812)	5,148,410
営業利益	945,336	356,589	572,419	1,874,345	(751,226)	1,123,119

##### 〔海外売上高〕

当四半期

(単位：千円)

	東南アジア地域	北米地域	その他の地域	計
海外売上高	716,507	657,830	362,624	1,736,961
連結売上高				5,708,738
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.6	11.5	6.4	30.4

各区分に属する主な国又は地域

- (1) 東南アジア地域 …… 香港(中国)、タイランド等
- (2) 北米地域 …… 米国、カナダ
- (3) その他の地域 …… 欧州、中近東等

「北米地域」は、従来、「その他の地域」として一括して記載しておりましたが、連結売上高に占める割合が10%以上となったため、区分掲記しております。なお、前連結会計年度の「その他の地域」に含まれている「北米地域」の海外売上高は357,641千円、連結売上高に占める割合は5.7%であります。

(参考)平成16年6月期

(単位：千円)

	東南アジア地域	その他の地域	計
海外売上高	869,553	676,284	1,545,837
連結売上高			6,271,529
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.8	10.8	24.6